

町内会連合会主催

令和6年度 町内会長と行政との懇談会意見交換概要

《とき》 令和6年7月8日（月）

《ところ》 グランドホテル藤花

《開催次第》

1. 開 会
2. 主催者挨拶 名寄市町内会連合会 会長 猿 谷 繁 明
3. 市長挨拶 名 寄 市 長 加 藤 剛 士 様
4. 町内会連合会からのお知らせ
5. 令和6年度の市の主な事業等
  - (1) 総務部
  - (2) 総合政策部
  - (3) 市民部
  - (4) 健康福祉部
  - (5) 経済部
  - (6) 建設水道部
  - (7) 教育部
  - (8) 名寄市立大学
  - (9) 名寄市立総合病院
  - (10) 消防署
6. 質疑応答・意見交換
7. 閉 会



《参加者》 町内会：51名 行政：20名 計 71名

【市長挨拶】

本日は多くの町内会の皆様にお集まりいただき、懇談できるこの機会に感謝申し上げます。4月の総会で新たに会長に就任された猿谷会長をはじめ、役員の皆様にこのような場を設けていただいたことにお礼申し上げます。町内会の皆様には、市民から一番身近なコミュニティということで、日頃からまちづくりへの活動にお力添えいただき感謝申し上げます。

5月から7月は、市内でほぼ毎週さまざまなイベントが開催され、町内会の皆様の積極的な参画や参加をありがとうございます。

各町内会でも夏祭りなどのイベントが開催されると思いますが、さらに地域を盛り上げ、より一層の町内会の結合を深めるためお力添えをいただきたい。

市内のイベントでは、名寄市電子地域通貨 Yorooca の積極的な活用の取り組みを名寄商工会議所を中心に行政と一体となって進めています。新紙幣が発行されましたが、キャッシュレスは今後も拡大が進んでいきます。色々なサービスの利便性向上や地域の活性化や循環を図るため今後もこの事業を進めていくので、皆様のご理解と積極的な活用をお願いいたします。

本日は、皆様と意見交換を行い、今後の名寄市の発展のための場としたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

### **【質疑応答・意見交換】**

#### (1) 名寄市地域連携事業補助金について（13区）

本補助金について、備品購入費が対象外経費となっているが、町内会が継続して事業を行えるようにするため対象経費とできないか検討していただきたい。

#### 回答：総合政策部長

現在備品購入費は対象外経費としているが、実際に補助制度を利用していただき、みなさんのご意見をいただきながら次年度以降の補助制度のあり方の検討を進めていく。

#### (2) 名寄市立大学生への支援について（大町区）

今後、少子化や旭川市立大学との競合などがあり、学生数の確保が難しくなるのではないか。市内団体から大学生へ向けて生活支援として物資の支援が行われている。市としても学生数確保のため、取り組みを行うべきではないか。

#### 回答：市立大学事務局長

名寄ロータリークラブや民間企業から給付型奨学金の支援を行っていただいている。大学独自の取り組みとして、JICA と連携し外国の福祉分野を学ぶスタディーツアーなどの国際交流のできる留学制度への助成を行っている。また、市内団体からの生活支として物資をいただいている。市内各団体からのさまざまな支援については、オープンキャンパスで PR をさせていただいている。

#### 回答：副市長

大学の魅力づくりと市民の支援、それを後押しする行政の役割が重要となる。奨学金等の制度や生活支援を含めて市内各団体を情報交換を進めていく。

(3) 図書館の建設について（大町区）

中心市街地に建設する予定とあるが、本の貸し出しばかりでなく情報発信や様々な世代の学ぶ場となるよう進めてほしい。風連地区からのアクセスや駐車場確保などどのように考えているか教えていただきたい。

回答：教育部長

中心市街地のどこに建設するか現時点では決まっていない。庁内検討委員会でどのような機能を持たせるか、駐車場はどれくらい必要か検討をしている。今後は、市民とともに考える場を持ちたい。

回答：総合政策部長

本の貸し出し機能だけではない複合型図書館を建設する予定である。中心市街地には市有地が少ないので、私有地を含め建設場所を検討していく。

回答：副市長

全国の様々な事例の図書館を参考に検討を進めている。図書を多く保有せずその都度取り寄せたり、電子媒体を活用するなど様々な方法が考えられ、面積がそれほど必要のない形も考えられる。今後どのような形式が良いのか見当を進めていく。

(4) 名寄東病院の改築について（大町区）

吉田病院隣接地へ建設予定とあり、昨年度末で上川北部医師会の指定管理が終了したとのことだが、今後の運用方法や診療体制について教えていただきたい。

回答：市立病院事務局長

現在の名寄東病院は、老朽化や場所が遠くて不便といった課題がある。今後の医療体制は病院ごとではなく、地域全体で考える必要がある。市立病院で急性期、救急を担い、他の病院で回復期、慢性期、療養を担っていく。東病院の規模を少し縮小をして中心市街地で改築を行うことで外来受診がしやすくなる。吉田病院と機能を連携することで効率的な医療提供をすることができるので、市立病院の外来負担を軽減することで手術・入院・救急を重点的に担っていけると考えている。

また、東病院の指定管理については、今年度改築に向けた基本構想を策定し着工・完成まで5年ほど時間を要することから、再び令和6年度から5年間上川北部医師会に指定管理をしていただいている。

回答：副市長

東病院には、現在105床あるが埋まっていない状況が続いている。中心市街地に改築することで外来機能の強化が期待でき、市立病院の外来混雑を解消できると考える。吉田病院との連携をすることで、例えばレントゲン機能の共有などコストダウンが見込まれる。

(5) 町内会への各種委員会の依頼について（旭東区）

町内会に各種委員会の委員就任の依頼があるが、以前から継続しての依頼の場合も委員会の趣旨等を説明したうえで依頼していただきたい。役員の人手不足により就任できない場合もあるのでご理解いただきたい。

回答：副市長

ご依頼方法や説明について、人手不足など現状把握をしつつ丁寧に行っていく。

(6) 町内会長の意見交換について（旭東区）

町内会連合会総会で意見があったように、町内会長同士の意見交換の場を設けていただきたい。

回答：町内会連合会

役員で話し合い、実現に向けて検討を進める。

(7) スマホ教室について（7区）

利用したことのある人の話では、2回目以降行くことに抵抗があるので、開催回数を増やしたり、予約不要にしていつ行っても対応いただけるようにサポーターが常駐することはできないか。

回答：総務部長

本事業は現在社会福祉協議会に委託して実施している。実施回数やサポーターの常駐については、開催場所やサポーターの確保が必要となるため今後どのような体制で行うのがよいか検証したい。

(8) 南広場、9丁目付近の草刈りについて（7区）

南広場内、9丁目の雑草が子どもの背丈ほど伸びていて危険性があるので、草刈りを実施していただきたい。1度だけではなく、状況を確認し都度実施していただきたい。

回答：建設水道部次長

現状を確認して対応したい。草刈り以外に、南広場内のグレーダーを使った整地を盆踊り開催前までには実施する予定でいる。

(9) 名寄市電子地域通貨 Yoroca のチャージ機について（7区）

無人型チャージ機が増えたが、その他にチャージできる場所についても周知してほしい。

回答：経済部長

公共施設や市内店舗でチャージに対応している場所があるので、周知に努めたい。

(10) 名寄市立大学生への支援について（7区）

今後、少子化だけではなく、旭川市立大学との競合で学生数の確保が難しくなるのではないかと。市内事業者でのアルバイトなど大学生が担っていただいているところがさまざまある。学生数確保のため、事業者や市で支援策を検討いただけないか。

回答：大学事務局長

学生の9割がアルバイトをしている。事業者では、まかない提供など普段からできる身近な支援をいただいている。また、事業者からアルバイト募集があれば、学生へ向け周知をしている。オープンキャンパスでは、在学生と高校生が話す場があり、学業のみではなく生活面での質問も多くある。アルバイトにおける事業者からの支援などもPRをさせていただいている。

(11) 名寄中学校改築について（7区）

現在の校舎は建設から20年ほどで壁にヒビが入っていたので、地盤に問題などない土地であるのか。

回答：教育部長

地盤について建築課と連携しながらしっかりと整備を進めたい。

(12) 中間処理施設整備について（東風連）

施設整備がされた後は、ごみの収集方法や分別方法に変更、風連一般廃棄物最終処分場が利用停止、名寄市リサイクルセンターの閉鎖など今後の状況について教えていただきたい。

回答：市民部長

現在の炭化ごみ、埋め立てごみが燃やせるごみと燃やせないごみに変更になる。収集方法や曜日に変更の可能性があるが、ごみ収集業者の高齢化や10年後以降のことも考えながら見直し検討を進めていく。

風連一般廃棄物最終処分場は、中間処理施設整備後は利用停止となり名寄地区の施設まで持ってきていただく必要がでてくる。変更となることは、早い段階で市民への周知を行うよう努めていく。

名寄市リサイクルセンターは、すぐに閉鎖はせずに、現在ペットボトル水平リサイクルを実施しているように、今後その他のプラスチックのリサイクルについての国の方針を確認しながら、リサイクルセンターの別の活用方法などあり方を検討していく。

(13) AI 活用型オンデマンドバス「のるーと」について（東風連）

のるーとの運行時間が短いのではないかと。また、免許返納を考える高齢者層がのるーとについて知らない方が多いので、高齢者にわかりやすい利用方法の周知をしていただきたい。風連地区農村部への導入について検討していただきたい。

回答：総合政策部長

周知は、十分ではないと認識している。今後町内会での試乗体験を検討している。高齢者へ向けて、電話予約が可能であることなど周知に努めていく。

のる一との運用方法や風連地区の導入については、市民へ向けたアンケート調査実施を予定しているので、そちらを参考に検討を進めていく。

(14) 道路整備について（東風連）

街路灯が切れている箇所があり、1年前から要望しており対応をいただきたい。

回答：建設水道部次長

令和5年度から3か年計画で街路灯のLED化を進めている。東風連は令和7年度を予定しているが、緊急を要するものか現地確認を行い、調整し対応する。

(15) AI活用型オンデマンドバス「のる一と」について（曙）

名寄市街地で運行しているが、名寄地区農村部においても運行できないのかという声が町内会で出ている。現在は、車を所有していない人は隣近所や子どもに送迎をしてもらっている状況だが、農村部に住んでいる人が免許返納後も生活していけるのかなど考えて検討していただきたい。

回答：副市長

農村部での運行も含めて公共交通のあり方を名寄市公共交通活性化協議会の市民団体等の委員で構成される専門部会で議論をいただく。

(16) ゴミ袋の変更について（ノースタウン区）

中間処理施設が整備され、分別方法が変わると現在のごみ袋から変更となるのか。

回答：市民部長

ごみの分別方法が変更となる予定なので、ごみ袋も変更となる。変更については、早い段階で市民への周知を行うよう努めていく。

**【市長まとめの挨拶】**

活発なご議論やご意見をいただきありがとうございます。

大学へ向けたご意見をたくさんいただきました。少子化や他大学との競合など大学維持へ向けた色々な方面からご意見がありました。日頃より地域から大学への支援をたくさんいただいています。さらなる支援へのご提言をいただきましたので、大学の魅力創出に向けて行政の施策も進めてまいります。教育の質を高めていくことも必要となるので、今後見直しを進めるなど組織のあり方を含め、大学と意見交換を行いながら大学経営を進めていきます。

中心市街地への図書館建設や東病院改築について、人口減少があり、その対策を進める一方で、コンパクトなまちづくりをして1人当たりの行政コストをできるだけ抑えることが大事になります。公共施設が老朽化するなかで、中心市街地に移転することで市民生活の利便性が図られる。どのような方針や内容で建設されていくかは未定のところもあるので、今後議論を進めながら、市民との情報共有の場を持ちたいと考えております。

電子地域通貨 Yorooca について、免許返納者へ1万ポイント付与する事業を行っているのをご活用し AI 活用型オンデマンドバス「のるーと」の利用など積極的な活用をいただきたいと思っております。公共交通についてのご意見があり、関心を持っていただいていることがわかった。今後議論を進めより良い公共交通としていきたいと考えております。

中間処理施設が令和9年度から稼働となることに伴い、ごみの分別について普段から多くご質問をいただきました。議論を進め、早い段階で市民周知を行うよう努めてまいります。

町内会へ日頃から多くの依頼をさせていただいています。町内会は自主活動組織であり、市との相互理解と信頼関係の中でまちづくりを進めています。町内会の人手不足等の状況も確認しながら丁寧な対応や別の方法を検討する必要があると考えております。

さまざまなご提言をいただきありがとうございました。今回の場に限らず、日頃から意見交換をさせていただければと考えております。本日はこのような場をいただき誠にありがとうございました。